



## license コマンド

---

- [license activate ap-count eval](#) (2 ページ)
- [license activate feature](#) (3 ページ)
- [license add ap-count](#) (4 ページ)
- [license add feature](#) (5 ページ)
- [license clear](#) (6 ページ)
- [license comment](#) (7 ページ)
- [license deactivate ap-count eval](#) (8 ページ)
- [license deactivate feature](#) (9 ページ)
- [license delete ap-count](#) (10 ページ)
- [license delete feature](#) (11 ページ)
- [license install](#) (12 ページ)
- [license modify priority](#) (13 ページ)
- [license revoke](#) (15 ページ)
- [license save](#) (16 ページ)
- [license smart](#) (17 ページ)

# license activate ap-count eval

Cisco Flex 7500 シリーズおよび Cisco 8500 シリーズ ワイヤレス LAN コントローラのアクセスポイント評価ライセンスをアクティブ化するには、**license activate ap-count eval** コマンドを使用します。

## license activate ap-count eval

### 構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

### コマンド デフォルト

デフォルトで、リリース 7.3 Cisco Flex 7500 シリーズ コントローラと Cisco 8500 シリーズ ワイヤレス LAN コントローラは 6000 AP をサポートします。

### コマンド履歴

リリース	変更内容
7.6	このコマンドは、リリース 7.6 以前のリリースで導入されました。

### 使用上のガイドライン

このライセンスをアクティブ化すると、コントローラによって、所定のライセンスのエンドユーザライセンス契約 (EULA) の受け入れまたは拒否を求めるプロンプトが表示されます。コントローラに接続された現在の AP 数よりも少ない APS 数をサポートするライセンスをアクティブ化した場合、アクティベーション コマンドは失敗します。

次に、Cisco Flex 7500 シリーズ コントローラで評価版 AP-count ライセンスをアクティブ化する例を示します。

```
(Cisco Controller) > license activate ap-count eval
```

# license activate feature

Cisco Flex 7500 シリーズおよび Cisco 8500 シリーズ ワイヤレス LAN コントローラで機能ライセンスをアクティブ化するには、**license activate feature** コマンドを使用します。

**license activate feature** *license\_name*

---

## 構文の説明

*license\_name* 機能ライセンスの名前。ライセンス名は最大 50 文字の文字で、大文字と小文字を区別します。

---

---

## コマンドデフォルト

なし

---

---

## コマンド履歴

リリース 変更内容  
ス

---

7.6 このコマンドは、リリース 7.6 以前のリリースで導入されました。

---

次に、Cisco Flex 7500 シリーズ コントローラで Data DTLS 機能のライセンスをアクティブ化する例を示します。

```
(Cisco Controller) > license activate feature data-DTLS
```

## license add ap-count

AP ライセンスが Cisco Flex 7500 および 8500 シリーズ ワイヤレス LAN コントローラでサポートできるアクセス ポイント (AP) 数を設定するには、**license add ap-count** コマンドを使用します。

### license add ap-count *count*

構文の説明	<i>count</i> AP ライセンスでサポートする AP の数。範囲は 1 からコントローラがサポートできる AP の最大数までです。数は 5 の倍数である必要があります。
コマンド デフォルト	なし
コマンド履歴	リリース 変更内容 ス 7.6 このコマンドは、リリース 7.6 以前のリリースで導入されました。
使用上のガイドライン	<p>Right to Use (RTU) ライセンスがあると、エンドユーザライセンス契約 (EULA) を受け入れた後、希望する AP ライセンス数をコントローラ上でイネーブルにできます。これで、外部ツールを使用せずに、簡単にコントローラに AP 数を追加できます。RTU ライセンスは、Cisco Flex 7500 および 8500 シリーズ ワイヤレス LAN コントローラのみで使用できます。</p> <p>このコマンドを使用して、既存の AP ライセンス数を増やすことができます。コントローラに接続された現在の AP 数よりも少ない APS 数をサポートするライセンスをアクティブ化した場合、アクティベーション コマンドは失敗します。</p> <p>次に、Cisco Flex 7500 シリーズ コントローラに AP ライセンス数を設定する例を示します。</p> <pre>(Cisco Controller) &gt; license add ap-count 5000</pre>

## license add feature

Cisco 5520 WLC、Cisco Flex 7510 WLC、Cisco 8510 WLC、Cisco 8540 WLC、および Cisco 仮想コントローラの機能にライセンスを追加するには、**license add feature** コマンドを使用します。

**license add feature** *license\_name*

構文の説明	<i>license_name</i> 機能ライセンスの名前。ライセンス名は最大 50 文字の文字で、大文字と小文字を区別します。 <b>data_encryption</b> があります。						
コマンドデフォルト	なし						
コマンド履歴	<table border="1"> <thead> <tr> <th>リリース</th> <th>変更内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7.6</td> <td>このコマンドは、リリース 7.6 以前のリリースで導入されました。 このコマンドは、Cisco Flex 7510 WLC と Cisco 8510 WLC に適用されます。</td> </tr> <tr> <td>8.1</td> <td>このコマンドは、Cisco 5520 WLC、Cisco Flex 7510 WLC、Cisco 8510 WLC、Cisco 8540 WLC、および Cisco vWLC に適用されます。</td> </tr> </tbody> </table>	リリース	変更内容	7.6	このコマンドは、リリース 7.6 以前のリリースで導入されました。 このコマンドは、Cisco Flex 7510 WLC と Cisco 8510 WLC に適用されます。	8.1	このコマンドは、Cisco 5520 WLC、Cisco Flex 7510 WLC、Cisco 8510 WLC、Cisco 8540 WLC、および Cisco vWLC に適用されます。
リリース	変更内容						
7.6	このコマンドは、リリース 7.6 以前のリリースで導入されました。 このコマンドは、Cisco Flex 7510 WLC と Cisco 8510 WLC に適用されます。						
8.1	このコマンドは、Cisco 5520 WLC、Cisco Flex 7510 WLC、Cisco 8510 WLC、Cisco 8540 WLC、および Cisco vWLC に適用されます。						

次に、**data\_encryption** 機能ライセンスを追加する例を示します。

```
(Cisco Controller) > license add feature data_encryption
```

# license clear

Cisco 5500 シリーズ コントローラからライセンスを削除するには、**license clear** コマンドを使用します。

**license clear** *license\_name*

構文の説明	<i>license_name</i>	ライセンスの名前。
コマンド デフォルト	なし	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.6	このコマンドは、リリース 7.6 以前のリリースで導入されました。
使用上のガイドライン	有効期限の切れた評価ライセンスや、未使用のライセンスを削除できます。有効期限前のライセンス、永久ベース イメージ ライセンス、またはコントローラによって使用されるライセンスは削除できません。	

次に、**wplus-ap-count** という名前のライセンスの設定を削除する例を示します。

```
(Cisco Controller) > license clear wplus-ap-count
```

## license comment

Cisco 5500 シリーズ コントローラでライセンスにコメントを追加したり、ライセンスからコメントを削除したりするには、**license comment** コマンドを使用します。

**license comment** {**add** | **delete**} *license\_name* *comment\_string*

### 構文の説明

<b>add</b>	コメントを追加します。
<b>delete</b>	コメントを削除します。
<i>license_name</i>	ライセンスの名前。
<i>comment_string</i>	ライセンスのコメント。

### コマンドデフォルト

なし

### コマンド履歴

リリース 変更内容  
ス

7.6 このコマンドは、リリース 7.6 以前のリリースで導入されました。

次に、ライセンス名 `wplus-ap-count` にコメント「`wplus ap count license`」を追加する例を示します。

```
(Cisco Controller) > license comment add wplus-ap-count Comment for wplus ap count license
```

## license deactivate ap-count eval

Cisco Flex 7500 シリーズおよび Cisco 8500 シリーズ ワイヤレス LAN コントローラのアクセスポイント評価ライセンスを非アクティブにするには、**license deactivate ap-count eval** コマンドを使用します。

### license deactivate ap-count eval

---

#### 構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

---

#### コマンド デフォルト

なし

---

#### コマンド履歴

---

リリース	変更内容
------	------

---

7.6	このコマンドは、リリース 7.6 以前のリリースで導入されました。
-----	-----------------------------------

---

次に、Cisco Flex 7500 シリーズ コントローラで AP 評価ライセンスを非アクティブにする例を示します。

```
(Cisco Controller) > license deactivate ap-count eval
```



## license deactivate feature

Cisco Flex 7500 シリーズおよび Cisco 8500 シリーズ ワイヤレス LAN コントローラで機能ライセンスを非アクティブにするには、**license deactivate feature** コマンドを使用します。

**license deactivate feature** *license\_name*

---

### 構文の説明

*license\_name* 機能ライセンスの名前。ライセンス名は最大 50 文字の文字で、大文字と小文字を区別します。

---

---

### コマンドデフォルト

なし

---

---

### コマンド履歴

リリース 変更内容  
ス

---

7.6 このコマンドは、リリース 7.6 以前のリリースで導入されました。

---

次に、Cisco Flex 7500 シリーズ コントローラで Data DTLS 機能のライセンスを非アクティブにする例を示します。

```
(Cisco Controller) > license deactivate feature data_DTLS
```

## license delete ap-count

Cisco Flex 7500 シリーズおよび Cisco 8500 シリーズ ワイヤレス LAN コントローラのアクセスポイント (AP) 数ライセンスを削除するには、**license delete ap-count** コマンドを使用します。

**license delete ap-count** *count*

---

### 構文の説明

*count* AP ライセンスでサポートする AP の数。範囲は 1 からコントローラがサポートできる AP の最大数までです。数は 5 の倍数である必要があります。

---

---

### コマンド デフォルト

なし

---

---

### コマンド履歴

リリース 変更内容  
ス

---

7.6 このコマンドは、リリース 7.6 以前のリリースで導入されました。

---

次に、Cisco Flex 7500 シリーズ コントローラの AP 数ライセンスを削除する例を示します。

```
(Cisco Controller) > license delete ap-count 5000
```

## license delete feature

Cisco Flex 7500 シリーズおよび Cisco 8500 シリーズ ワイヤレス LAN コントローラの機能のライセンスを削除するには、**license delete feature** コマンドを使用します。

**license delete feature** *license\_name*

---

**構文の説明**

---

*license\_name* 機能ライセンスの名前。

---

---

**コマンド デフォルト**

---

なし

---

---

**コマンド履歴**

---

リリース	変更内容
------	------

---

7.6	このコマンドは、リリース 7.6 以前のリリースで導入されました。
-----	-----------------------------------

---

次に、Cisco Flex 7500 シリーズ コントローラの高可用性機能のライセンスを削除する例を示します。

```
(Cisco Controller) > license delete feature high_availability
```

# license install

Cisco 5500 シリーズ コントローラにライセンスをインストールするには、**license install** コマンドを使用します。

**license install** *url*

構文の説明	<i>url</i>	TFTP サーバの URL ( <code>tftp://server_ip/path/filename</code> )。
コマンド デフォルト	なし	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.6	このコマンドは、リリース 7.6 以前のリリースで導入されました。

## 使用上のガイドライン

コントローラにインストールする **base-ap-count** ライセンスと **wplus-ap-count** ライセンスのアクセス ポイント数は、同一にすることをお勧めします。コントローラの **base-ap-count** ライセンスが 100 である場合に、**wplus-ap-count** ライセンス 12 をインストールすると、そのコントローラではベース ライセンスの使用時に最大 100 個のアクセス ポイントをサポートしますが、**WPLUS** ライセンスの使用時には最大 12 個のアクセス ポイントしかサポートされません。

インストールする **WPLUS** ライセンスのアクセス ポイント数をコントローラのベース ライセンスより多くすることはできません。たとえば、既存の **base-ap-count** ライセンスが 12 のコントローラに **wplus-ap-count** ライセンス 100 を適用することはできません。このようなライセンスを登録しようとする、ライセンス登録が失敗したことを示すエラーメッセージが表示されます。**wplus-ap-count** 100 ライセンスをアップグレードする前に、コントローラの **base-ap-count** ライセンスを 100 または 250 にアップグレードする必要があります。

次に、URL `tftp://10.10.10.10/path/license.lic` からライセンスをコントローラにインストールする例を示します。

```
(Cisco Controller) > license install tftp://10.10.10.10/path/license.lic
```

# license modify priority

Cisco 5500 シリーズ コントローラで base-ap-count または wplus-ap-count 評価ライセンスの優先順位を上げる、または下げるには、**license modify priority** コマンドを使用します。

**license modify priority** *license\_name* { **high** | **low** }

構文の説明	<p><i>license_name</i> ap-count 評価ライセンス。</p> <p><b>high</b> ap-count 評価ライセンスの優先順位を変更します。</p> <p><b>low</b> ap-count 評価ライセンスの優先順位を変更します。</p>
コマンドデフォルト	なし
コマンド履歴	<p>リリース 変更内容</p> <p>7.6 このコマンドは、リリース 7.6 以前のリリースで導入されました。</p>
使用上のガイドライン	<p>アクセスポイント数の多いライセンスにアップグレードする場合は、永久バージョンのライセンスにアップグレードする前に評価ライセンスを試すことができます。たとえば、現在、アクセスポイント数が 50 の永久ライセンスを使用しており、アクセスポイント数が 100 の評価ライセンスを試す場合、60 日間評価ライセンスを試すことができます。</p> <p>ap-count 評価ライセンスの優先順位は、デフォルトで low に設定されるので、コントローラでは ap-count 永久ライセンスが使用されます。アクセスポイント数を増やした評価ライセンスを試す場合は、優先順位を high に変更する必要があります。そのような高容量は必要ないと判断した場合は、ap-count 評価ライセンスの優先順位を下げて、コントローラで永久ライセンスが使用されるようにすることができます。</p>
 (注)	<p>優先順位を設定できるのは、ap-count 評価ライセンスに限られます。ap-count 永久ライセンスの優先順位は常に medium であり、設定できません。</p>
 (注)	<p>ap-count 評価ライセンスが WPLUS ライセンスであり、ap-count 永久ライセンスがベースライセンスである場合は、フィーチャセットも WPLUS に変更する必要があります。</p>



- 
- (注) 操作の中断を避けるために、コントローラは、評価ライセンスの有効期限が切れてもライセンスを切り替えません。永久ライセンスに戻すには、コントローラをリブートする必要があります。リブート後に、期限切れになった評価ライセンスと同じフィーチャセットレベルにコントローラがデフォルト設定されます。同じフィーチャセットレベルの永久ライセンスがインストールされていない場合、コントローラは、別のレベルの永久ライセンスまたは有効期限の切れていない評価ライセンスを使用します。
- 

次に、wplus-ap-count の優先度を high に設定する例を示します。

```
(Cisco Controller) > license modify priority wplus-ap-count high
```

## license revoke

Cisco 5500 シリーズ WLC でライセンスを再ホストするには、**license revoke** コマンドを使用します。

**license revoke** {*permission\_ticket\_url* | **rehost** *rehost\_ticket\_url*}

構文の説明	<i>permission_ticket_url</i>	権限チケットを保存した TFTP サーバの URL (tftp://server_ip/path/filename)。
	<b>rehost</b>	再ホスト ライセンスの設定を指定します。
	<i>rehost_ticket_url</i>	再ホスト チケットを保存した TFTP サーバの URL (tftp://server_ip/path/filename)。
コマンドデフォルト	なし	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.6	このコマンドは、リリース 7.6 以前のリリースで導入されました。

**使用上のガイドライン** ライセンスを取り消す前に、**license save credential url** コマンドを使用してデバイスのクレデンシャルを保存します。

永久ベース イメージライセンスを除く、すべての永久ライセンスを再ホストできます。評価ライセンスおよび永久ベース イメージライセンスは再ホストできません。

ライセンスを再ホストするには、コントローラから認証情報を生成し、その情報を使用して、Cisco ライセンス サイト (<https://tools.cisco.com/SWIFT/LicensingUI/Quickstart>) からライセンスを無効にするための権限チケットを取得する必要があります。次に、再ホストチケットを取得し、そのチケットを使用して、ライセンスをインストールするコントローラ用のライセンスインストール ファイルを取得します。

ライセンスの再ホストの詳細については、『*Cisco Wireless LAN Controller Configuration Guide*』第 4 章「Installing and Configuring Licenses」を参照してください。

次に、保存された権限チケット URL tftp://10.10.10.10/path/permit\_ticket.lic からライセンス設定を取り消す例を示します。

```
(Cisco Controller) > license revoke tftp://10.10.10.10/path/permit_ticket.lic
```

次に、保存された再ホストチケット URL tftp://10.10.10.10/path/rehost\_ticket.lic からライセンス設定を取り消す例を示します。

```
(Cisco Controller) > license revoke rehost tftp://10.10.10.10/path/rehost_ticket.lic
```

## license save

Cisco 5500 シリーズ コントローラにインストールしたすべてのライセンスのバックアップ コピーを保存するには、**license save** コマンドを使用します。

**license save credential url**

### 構文の説明

*credential* デバイス クレデンシャル情報。

*url* TFTP サーバの URL (tftp://server\_ip/path/filename) 。

### コマンド デフォルト

なし

### コマンド履歴

リリー 変更内容  
ス

7.6 このコマンドは、リリース 7.6 以前のリリースで導入されました。

### 使用上のガイドライン

**license revoke** コマンドを使用してライセンスを取り消す前に、デバイス クレデンシャルを保存します。

次に、tftp://10.10.10.10/path/cred.lic でインストールされたすべてのライセンスまたはライセンス クレデンシャルのバックアップ コピーを保存する例を示します。

```
(Cisco Controller) > license save credential tftp://10.10.10.10/path/cred.lic
```



# license smart

シスコスマートソフトウェアライセンスングプラットフォームを使用してデバイスを登録または登録解除するには、**license smart** コマンドを使用します。

**license smart** { **register** | **deregister** } *idtoken*

## 構文の説明

<b>register</b>	シスコスマートソフトウェアライセンスプラットフォームにデバイスを追加し、有効化します。
<b>deregister</b>	シスコスマートソフトウェアライセンスプラットフォームのデバイスを削除します。
<i>idtoken</i>	デバイスの固有の ID。

## コマンド履歴

リリース 変更内容

8.2 このコマンドが導入されました。

次に、シスコスマートソフトウェアライセンスプラットフォームにデバイスを登録する方法を示します。

```
(Cisco Controller) > license smart register
RkMxJbjKMV11hmpgh46mAgXSNKmticyJzu0xDfYgf8xf1kiYbZsCqprt
```

